

2017 年度

ロシア派遣留学報告書

実習先：ウラジオストク国立経済大学

実習期間：8月29日—12月28日

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21016104
藤田 春也

目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修目的	3
4	研修内容	4
	4-1 留学のスケジュール及びイベント	4
	4-2 研修の詳細	4
5	所感	6
6	おわりに	7
	謝辞	7

付録

	イベントの詳細	7
--	---------	---

1 研修先及び実習期間

研修先：ウラジオストク国立経済大学

研修期間：平成 28 年 8 月 29 日—平成 28 年 12 月 28 日

2 研修先概要

(1)大学について

ウラジオストク国立経済大学は、ウラジオストク沿岸部にその校舎を持つ。ウラジオストクとは、ロシアの極東部に位置し、人口は約 63 万人で極東でも 1、2 位を争う大都市である。

大学は 1967 年に開校し、2017 年には創立 50 周年を迎えた。キャンパスは市内中心部に位置している。学部は 8 つ存在し、学生数は 1 万人を超える。主にロシア人の学生が多いが、他にも韓国、中国、アメリカ、イギリス、スペインなど多種多様な国籍の学生がいる。また、施設が充実しており、体育館や図書館はもちろん、カフェや銀行、ジムやコート、診療所などもある。学生専用の寮もあり、基本的には留学生はここで生活している。現在は経済、経営、ビジネス、観光、デザイン、エンジニアリングに重点を置いている。

(2) 大学で行われている教育について

ロシア語を学びに来た留学生はまず初めにテストを受けることになる。テストの結果によりクラスが分けられ、各自にあったレベルの授業を受けることが出来る。ひとつのクラスにつき 10 人から 15 人前後という少人数で構成されているため、一人ひとりより深く学習に取り組める用になっている。また、語学の勉強だけではなく、ロシアの伝統や文化、歴史を学び、体験する機会が設けられており、語学以外の面でロシアを知ることが出来る。

3 研修目的

今回の研修の目的は、語学の上達は勿論だが、主な目的は異文化と実際に触れることにより国際社会への理解度を高め、国際感覚を身につけることである。文化や価値観が全く違う地域に滞在することで、身に着けられると考えた。今の時代、ほぼ全ての国は自国ではない国と関係を持ち、多様な民族が共に生きていく時代である。そのような時代に国際感覚を持っていないようでは、日々変動する国際情勢の波に飲まれ、正しく判断出来ず、理解することも出来ない。また、海外留学という経験は、コミュニケーション能力の向上や、知識や見聞を発展させたりと様々なことに繋がると考え、これからの人生において必ず役に立つものだと考えたからである。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する

4-1 留学のスケジュール及びイベント

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:30-10:30	文法	会話	リスニング	リーディング	リスニング
10:10-11:40	単語	リーディング	単語	文法	文法
11:50-13:20	昼食休憩				
13:30-15:00	ロシア美術	ロシア音楽	ロシア歴史	ロシア地理	

基本的にはこれを繰り返していく。

・イベント

収穫祭、虎祭り、バレエ鑑賞、ウラジオストク映画祭、他国留学生との交流会、アイススケート etc.

4-2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下の通りである。

イベントに関する詳細は付録に掲載する。

1) 文法

ロシア語の文法を学ぶ、基本的には教科書の問題を教師と一緒に解いていく。習った文法を使い、自分で短文を作るなどとした。ロシア語は文法が非常に難しいと共に、大切であるため最も授業数が多い

2) 単語

教科書に載っている単語や、問題を教師と一緒に解く。そして、教科書に載っている質問を口頭で返すなどをする。基本的には単語を覚える宿題などが多く、他にも自分の国での自分の生活や、自分の国の文化などのスライドを作り、ロシア語で発表する宿題が多く出された。

3)会話

教科書に載っている文法や、その文法をもとに作られた長文をグループになって読むなどをする。また、その長文を参考として、グループで長文の会話を作ったりもした。

4)リーディング

基本的には教科書に載っている長文の読解となる。また、長文に出てくる単語の意味をロシア語で説明するなどや、その単語を使った例文を作るなどをした。文法やアクセントなども細かく指導された。

5)リスニング

CD で聞いた単語を書き、スペルが間違っていないか、正しい単語が書けているかなどをチェックされる。また、発音に関する指導もされた。

6)ロシア美術

ロシアの画家やその画家の代表作。もしくは、ロシアの伝統的な工芸品などを学ぶ。映像だったり、教師が実際に実物を持ってきたりなどしてくれた。実際に絵を書いたりすることが多く、体験しながら学習することができた。

7)ロシア音楽

ロシアの音楽を学ぶ。歌を聞き、歌詞を理解した後に実際に歌うというのが一番多かった。他にも、楽器の名称を覚え、実際に演奏したり、バレエの歴史についてなども学んだ。

8)ロシア歴史

ロシアの歴史について学ぶ。ロシアの最初期から、1900年代までを学ぶ。普段の授業では出てこない単語が多数であり、時代の流れや背景などを理解しなければならない。しかし、教師が非常に丁寧に説明してくれるため、理解しやすかった。

9)ロシア地理

ロシアの地理について学ぶ。ロシアの地域の名前や有名な都市、川や山、湖や海、周りの国や極東地方について、動物や名産品などロシアについての多くを学ぶ。映像や写真を見て覚えていった。

5 当初目的及び目標への達成度

目的であり目標だったのは、異文化交流と、自分と違った価値観を体験することによって、国際感覚を身につけることだった。実際にロシアで生活して、いろいろなこと体験したり、ルームメイトでクラスメイトの韓国人や他の留学生の中国人やアメリカ人やラオス人など色々な人に会い、実際に話したりすることで、当初の予想よりも理解することが出来、身につけることが出来た。

6 反省・課題

ロシア語の勉強も、国際感覚の理解も、この留学と同時に終わらせてはいけない。むしろ、本場での勉強や、実際に体験することが難しくなった為、今までよりも多く、深く、学んでいきたい。

謝辞

今回ウラジオストク国立経済大学で指導してくれた先生方、日本で留学に行く前から帰ってくるまでサポートして下さった NUIS の先生方。その他多くの関係者の方々に深く感謝申し上げます。また、新潟国際情報大学からいただきました奨学金によって、本留学の参加が実現し、貴重な経験を得ることが出来たことに、心から感謝いたします。

付録:イベント紹介

収穫祭

町の中心部に近い広場で行われる大きな市。ソーセージや牛乳、魚や果物など新鮮なものから。工芸品やお土産品などを販売したり、歌や踊りなどの催しもあった。

虎祭り

ウラジオストクの中心街でかなり盛大に行われ、有名な祭りのひとつ。虎のフェイスペインとや、仮装などをしながら、パレードをしたりする。街全体がオレンジ色になっていた。



バレエ鑑賞

マリンスキー劇場で実際にバレエを鑑賞した。海賊と白鳥の湖を鑑賞した。音楽の授業で学んだ後に鑑賞した為、より楽しめた。またこの劇場では、他にもオペラなども鑑賞することができる。



ウラジオストク映画祭

ロシア映画で有名な俳優や、監督、がマリンスキー劇場に集まる、15周年を迎えたイベント。ロシア以外の国々からも多くのゲストが訪れていた。

他国留学生との交流会

大学が企画する交流イベント。スタッフはほぼロシア人の学生で構成されていた。電車で海岸近くの公園に行き様々なゲームなどを行うオリエンテーションだった。

アイススケート

韓国人の留学生とロシア人のボランティアと先生達と大学のバスで、郊外のスケート場に行った。滑れなかった人は滑り方を教えてもらうなどして楽しむことが出来た。

